



東洋水産から株主の皆様へ

第61期 決算のご報告

第2四半期 (中間)

2008年4月1日～2008年9月30日



おかげさまで
マルちゃん赤いきつねは
発売30周年!



東洋水産株式会社

証券コード：2875



株主の皆様へ



代表取締役社長 堤 殷

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援とご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

さて、当社第61期の第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

向などが要因となり、企業間競争は引き続き激しいものとなり、依然として厳しい状況が続いております。また、後を絶たない食品の原産地偽装表示事件等から消費者の食の安全面に対する意識はこれまで以上に高まり、当業界は品質管理強化の取り組みが一層重視される中、環境問題への対応なども含め企業の社会的責任がますます求められております。

このような状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、消費者の食に対する安全・安心志向にお応えするため、品質管理の一層の強化を図るとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は160,223百万円、営業利益は13,002百万円、経常利益は13,948百万円、四半期純利益は7,901百万円となりました。

2008年12月

当第2四半期の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安の高まりや株式・為替市場の変動等による景気の後退懸念が高まる中、原材料価格の高騰や消費者物価の緩やかな上昇等の影響により企業収益や設備投資は減少し、個人消費もおおむね横ばいとなりました。

当食品業界においては、原油価格の高騰、原材料価格の高騰を受けた商品価格の値上げ、少子高齢化による市場の縮小傾

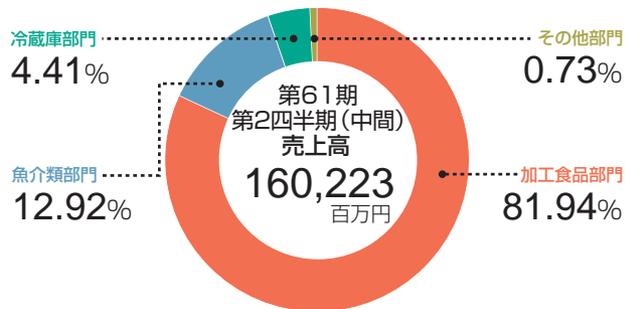
連結決算ハイライト



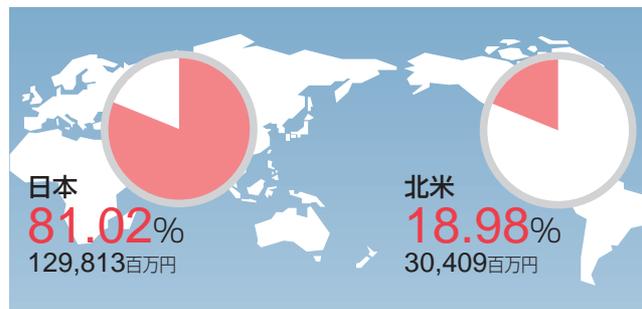


セグメント情報

事業セグメント別売上高



所在地別売上高



加工食品部門



加工食品部門は、国内即席麺事業のカップ麺のうち、主力商品の和風麺については「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」を対象に「30周年企画商品」の発売、並びに「夏モチグッズ」プレゼントキャンペーン”等、積極的な販売促進を行いました。

価格改定による販売環境の変化の中、カップ麺全体では微減となりました。

袋麺においては、ノンフライ主力ブランドである「昔ながら」シリーズのリニューアル発売等を展開しましたが、やや前年同期割れの売上となりました。

ワンタン類においては「ワンタン しょうゆ味」「トレーワンタン 旨味しお味」等が寄与し増収となりました。

生麺事業の売上は、新製品・リニューアル品の寄与に加え、諸物価の高騰の影響で家庭内食化傾向が強まったことにより既存主力商品も好調に推移し、生麺全体で前年同期を上回る実績となりました。

冷凍食品事業では、市販用冷凍食品が中国産冷凍餃子問題の影響等により減収でしたが、業務用冷凍麺及び冷凍野菜は順調に推移し、冷凍食品全体では前年同期を上回る実績となりました。

米飯事業の売上は、「米回帰」が進んだこともあり、無菌米飯・レトルト米飯ともに好調に推移しました。

また、魚肉ハムソーセージ類の売上は、昨今の健康志向を反映して順調に推移し、調味料類の売上も家庭内調理の増加により順調に推移しました。

これらの結果、売上高は 131,293 百万円、営業利益は 11,648 百万円となりました。

魚介類部門



魚介類部門は、中国・ロシア・欧米諸国の旺盛な買付意欲による水産原料の高騰、ウナギの産地偽装表示問題等から消費者の水産品購入意欲は低下し、水産業界を取り巻く環境はたいへん厳しくなりました。

そのような中、鮭鱒・魚卵等を中心に、海外有力会社との取組みによる原料の安定確保、自社グループ工場を中心とした徹底した品質管理による製造、効率的な販売を行った結果、売上高は 20,700 百万円、営業利益は 612 百万円となりました。

冷蔵庫部門



冷蔵庫部門は、中国産輸入品を中心とした冷凍食品類の消費が依然として回復しないことから、取扱量が前年同期を下回り、産地型冷蔵庫における水産物の取扱も不振が続きました。

これらを受け、営業活動の強化を図ってまいりましたが、代替貨物の集荷に苦戦し、保管料収入が減少いたしました。この結果、売上高は 7,064 百万円、営業利益は 379 百万円となりました。

その他部門

その他部門は、主に輸入牛肉・輸入加工食品の販売並びに不動産賃貸であります。輸入牛肉需要の減退等の影響を受け、売上高は 1,165 百万円、営業利益は 359 百万円となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期末 2008.9.30	前期末 2008.3.31
資産の部		
流動資産	105,803	100,532
現金及び預金	30,706	29,833
受取手形及び売掛金	39,497	39,276
たな卸資産	20,862	18,931
繰越税金資産	1,806	1,670
その他	13,463	11,065
貸倒引当金	△ 534	△ 244
固定資産	109,482	105,511
有形固定資産	89,881	86,503
無形固定資産	1,562	1,851
投資その他の資産	18,038	17,155
資産合計	215,285	206,043
負債の部		
流動負債	42,162	41,218
固定負債	15,936	15,724
負債合計	58,099	56,943
純資産の部		
株主資本	150,400	144,114
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	21,412	21,412
利益剰余金	117,105	110,734
自己株式	△ 7,086	△ 7,001
評価・換算差額等	△ 4,773	△ 6,337
その他有価証券評価差額金	538	340
繰延ヘッジ損益	△ 159	△ 12
為替換算調整勘定	△ 5,151	△ 6,666
少数株主持分	11,559	11,323
純資産合計	157,186	149,100
負債純資産合計	215,285	206,043

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 2008.4.1 ~ 2008.9.30	前中間期 (ご参考) 2007.4.1 ~ 2007.9.30
売上高	160,223	156,321
売上原価	105,039	100,612
売上総利益	55,184	55,708
販売費及び一般管理費	42,182	46,609
営業利益	13,002	9,098
営業外収益	1,192	2,871
営業外費用	246	508
経常利益	13,948	11,461
特別利益	36	536
特別損失	715	1,356
税金等調整前四半期 (中間) 純利益	13,268	10,640
法人税、住民税及び事業税	5,316	3,662
法人税等調整額	△ 281	739
少数株主利益	331	722
四半期 (中間) 純利益	7,901	5,515

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 2008.4.1 ~ 2008.9.30	前中間期 (ご参考) 2007.4.1 ~ 2007.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,191	11,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,933	△ 8,808
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,261	△ 3,026
現金及び現金同等物に係る換算差額	635	△ 380
現金及び現金同等物の増加額	△ 2,367	△ 1,119
現金及び現金同等物の期首残高	37,570	36,868
現金及び現金同等物の 四半期末 (中間期末) 残高	35,202	35,748

「第61期第2四半期業績のご報告」における適用初年度の対応について

当時から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されました。適用される会計基準や用語などが、当四半期に係る財務情報と前年同期に係る財務情報との間で異なりますが、当社といたしましては株主の皆様の利用性を考慮し、当四半期決算のご報告においては数値の比較がしやすいよう主要な財務項目は並べて記載することといたしました。前年同期に係る数値やグラフは参考データとしてご確認ください。

特集

皆さまに愛されて、 おかげさまで、発売 30 周年



1978年8月に発売された赤いきつねうどんが、今年発売30周年を迎えました。だしの利いたおつゆにしっかりとコシのある麺、そして大きな油揚げを組み合わせた、飽きのこないオーソドックスな味が支持され、マルちゃんブランドを代表する商品として多くの皆さまに親しまれています。

ロングセラーブランドに育った、もう一つの大きな要素は、パッケージとコマーシャル。ユニークなネーミングに、赤と白を基調にした大胆なデザインは、売り場でも独特の存在感を示しています。そして、発売以来一貫して出演している武田鉄矢さんの楽しいテレビCMも、愛され続けてきた理由といえます。

美味しさの秘密と味のこだわり

赤いきつねには、美味しさの秘密やさまざまな味のこだわりの歴史があります。うどんらしい弾力のある食感を目指し開発された麺は、その後、原材料や製法にも工夫を重ね、現在は滑らかな喉越しの良さも高い評価をいただいています。

自慢のおつゆは、発売以来「だし」にこだわり、自社工場で加工した鰹ぶし粉末を使い、美味しさと安心・安全への一貫した取組みをしてきました。さらに、地域によって異なるお客様の嗜好に対応するため、発売当初は東西2つに分けていた味付けを、現在では全国4つの味で展開し、鰹や昆布だしの風味もより一層アップさせています。

そして、独自の製法で製造した油揚げは、きめが細かく、滑らかでふっくらした食感と、醤油の旨みと砂糖の甘さがバランス良くしみたおいしさが特長です。また、これまでに数回の改良を重ねた結果、より大きく、厚くなり、ボリューム感を増しています。

話題がいっぱいの30周年企画

今年は、発売30周年を記念して、さまざまな企画を展開しています。

8月にはオマケに小さな油揚げが付いた期間限定商品、10月には赤いきつねの原点となった商品を現代風に再現した「復刻版カップきつねうどん」も発売されました。

また、武田鉄矢さんとジャニーズのメンバーによるスペシャルユニット「TU→YU」の新しいCMや、「CM撮影会参加キャンペーン」「着うた®ダウンロードプレゼント」など、話題がいっぱいの企画を行っています。

これからも赤いきつねうどんは、皆さまに、もっと美味しい商品、もっと楽しい企画をお届けするよう努力を重ねてまいります。





会社情報 (2008年9月30日現在)

会社概要

創立	1953年3月25日
本社	〒108-8501 東京都港区港南二丁目13番40号 電話(03)3458-5111(代表)
資本金	189億6,952万円
従業員数	1,688名
事業所数	工場7、冷蔵庫13、支店・営業所28
関連会社	国内関係会社24社 (うち、連結子会社15社、非連結子会社7社、 関連会社1社、持分法適用会社1社) 海外関係会社9社 (うち、連結子会社6社、非連結子会社3社)

役員 (2008年9月30日現在)

代表取締役会長	深川 清司	常勤監査役	北村 勝久
代表取締役社長	堤 殷	常勤監査役	南 守之
専務取締役	織田 睦彦	社外監査役	高良 明
常務取締役	成瀨 勝郎	社外監査役	森 勇
取締役	目羅 甚一		
取締役	谷口 文夫		
取締役	佐藤 勝英		
取締役	山内 寛		
取締役	山下 透		
取締役	三浪 博行		
取締役	菅原 謙二		
取締役	小畑 一雄		
取締役	手嶋 専市		

主要グループ企業

【国内連結子会社】

- 八戸東洋株式会社
- 伊万里東洋株式会社
- 甲府東洋株式会社
- 株式会社フレッシュダイナー
- フクシマフーズ株式会社
- 株式会社東京商社
- 東洋冷凍株式会社
- 銚子東洋株式会社
- サンリク東洋株式会社
- ユタカフーズ株式会社
- 株式会社酒悦
- 石狩東洋株式会社
- 新東物産株式会社
- ミツワデイリー株式会社
- 東部貿易株式会社

【海外連結子会社】

- MARUCHAN, INC.
- MARUCHAN VIRGINIA, INC.
- MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V.
- SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- PAC - MARU, INC.
- SEAFREEZE LIMITED PARTNERSHIP

【非連結子会社他】

- ヤイズ新東株式会社
- 下田東水株式会社
- 三幸養魚株式会社
- 海南東洋水産有限公司(中国)
- 埼玉東洋株式会社
- 湛江東洋水産有限公司(中国)
- 湘南東洋株式会社
- 株式会社いらご研究所
- 東和エステート株式会社
- 青島味豊調味食品有限公司(中国)
- スルガ東洋株式会社
- 仙波糖化工業株式会社※

※持分法適用関連会社



株式情報 (2008年9月30日現在)

株式の状況

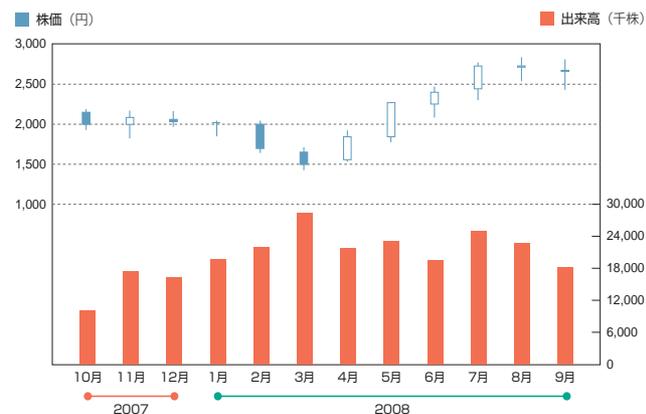
発行可能株式総数 427,000,000 株
 発行済株式の総数 110,881,044 株
 株主数 5,636 名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	6,046	5.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,519	5.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 4G)	3,939	3.86
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	3,512	3.44
株式会社三井住友銀行	2,900	2.84
SAJAP	2,300	2.25
マルちゃん持株会	2,051	2.01
あいおい損害保険株式会社	2,000	1.96
インベスターズバンク アンド トラスト カンパニー	1,801	1.77
中央三井信託銀行株式会社	1,690	1.66

(注) 出資比率は自己株式 (8,876,295 株) を控除して計算しております。
 (注) 出資比率は小数点以下第 2 位未満を四捨五入して計算しております。

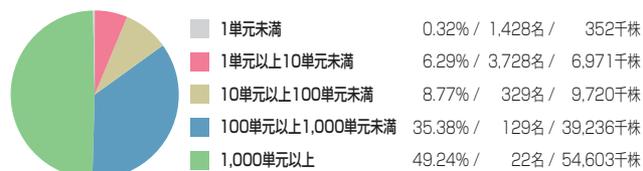
株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株主優待制度

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環として、ご所有の株式数に応じて自社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し、3,000円相当の自社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し、5,000円相当の自社製品をそれぞれ6月に進呈させていただきました。



3,000円相当の製品例

株式事務手続きのご案内

当社の株式事務を取扱っております中央三井信託銀行では、株主の皆様住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定などの用紙のご請求を電話及びインターネットのホームページで 24 時間受付しておりますので、どうぞご利用ください。

●電話によるご請求

受付フリーダイヤル 0120-87-2031 (操作方法は、音声案内にしたがってください。)

●インターネットによるご請求

ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

※証券保管振替制度をご利用の方は、恐れ入りますが、お取引の証券会社へご照会ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし、電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (アドレス) http://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	1,000 株
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)

東洋水産株式会社

 TOYO SUISAN

〒108-8501 東京都港区港南二丁目13番40号

TEL (03) 3458-5111 (代表)

ホームページ <http://www.maruchan.co.jp/>

マルちゃん 雑学館 Vol.9

赤いきつねの原点



復刻版カップきつねうどん

今年10月、「復刻版カップきつねうどん」「同カップ天ぷらそば」が発売されました。「カップきつねうどん」「カップ天ぷらそば」は、いずれも1975年に発売され、夫々現在の赤いきつねうどん、緑のためぎ天そばの原点になった商品です。

本格的な即席カップきつねうどんとして業界に先駆けて発売され、大ヒットを記録した「カップきつねうどん」は、その後改良が加えられ、1978年8月10日赤いきつねうどんとして生まれ変わりました。

そして、赤いきつねはロングセラーブランドに育ち、今年、おかげさまで発売30周年を迎えました。赤いきつねの今日があるのは、多くのお客様のご支援とともに、新しいジャンルにチャレンジし市場を開拓した「カップきつねうどん」の存在があったからです。



本冊子は、環境保全のため再生紙を使用し、大豆油インキで印刷しています。